

第54回 全日本中学生ホッケー選手権大会確認事項《チーム・競技役員用》



TD: 馬場 治男、ATD: 菊池 玲子、U15カテゴリー部会事務局長: 久保 克敏

令和6年8月16日(金)

- ・監督会議 (14:15~/小矢部市総合福祉センター)
- ・競技役員ミーティング (20:00~/東横INN新高岡駅新幹線南口)

◆事前練習

- ・ウォーミングアップはウォーミングアップエリアで行う。
- ・試合前の定められた時間に、指定された練習エリアを使う。(目安: 前々試合の後半～前試合前半終了)
- ・競技会場内は、安全のためボールを使った練習はドリブル、プッシュによるパスまでとする。(ゴールの設置はありません。シュートはできません。)
- ・試合場での、試合開始前の事前練習については 30 分前から認める。
 - * ただし、競技役員の指示に従うことを条件とする。また、2試合目以降についても認めるが、試合開始前の集合に遅れないことを条件とする。(実際には 2試合目以降の練習実施は難しい)q

◆メンバーチェック等

1. スターティングリストの提出は行わず、メンバーチェックの際に監督から先発メンバーの申告をする。
 - * チームユニフォームが重複した場合、両チームの監督により、友好的な解決をお願いしたい！(事前確認を)
 - ただし、TO・アンパイアの判断により変更を求めることもあるので、必ずピッチに2着準備をしておくこと。
 - * 公式記録用紙の訂正は、参加受付時に行う。(以降の訂正は認めない)
2. 各チームは、試合開始15分前までに次試合テントに待機していること。(10 分前を目処にメンバーチェックを行う)

なお、各チームの監督は、メンバーチェックの前に、下記の点について確認・協力をお願いしたい。

 - ・監督はスターティングメンバー6人(GK含む)の申告をする
 - ・『登録証』(個別に持参/顔写真の添付)を用いてメンバーチェックを実施する
 - ・選手の健康状況について
 - (明らかに熱中症などの症状を呈する選手について⇒TOの判断で、試合に参加させない場合もある)
 - ・ヘアピン、腕時計等、アクセサリや金属の装着は不可
 - ・「スティックチェック」・・・規格に合っているか？JHA公認シールは？スティックの破損はないか？
 - * 穴・破片が飛び散る可能性があるものは使用を控えてもらう場合もある！
 - * 全ての試合前に、リングパス及びスティックの破損状況など慎重にチェックする。
 - ・GKのアンダーパットの装備
 - * 確認はしないが、チームの責任で必ず装着させること。
 - ・「マウスガード」の装着
 - * メンバーチェック時に確認あり。「未装着届」が提出されている選手については、装着を免除。
 - * 「未装着届」が提出されていないが、紛失等の理由で装着することができない選手を参加させる場合は、「マウスガード未装着選手の出場に関する覚え書き」に監督がサインすることにより出場を認める。《新規》
 - 上記覚え書きの用紙については、テクニカルテーブルに準備しておく。
 - ・アンダーウェア(上)については同色の着用を認める。ロングアンダースパッツ(下)は認めない。
 - ・帽子の着用は認める(本来は不可であるが、熱中症予防の対策として。)ただし、着用にあたっては、ツバを後ろに向け相手に危険の無い状態を確保する。
 - ・ヘアバンド、リストバンドについて、今年度は制限をかけず様子を見ることとする。

3. PC時に使用する「マスク」「グローブ」等も、試合開始前(メンバーチェック時)にTOの確認を受ける。

◆ベンチ

1. ベンチには今大会に「選手(12名以内)」「スタッフ(監督1名・コーチ1名以内)」としてエントリーし、日本ホッケー協会に「選手」または「チームスタッフ」として登録した者が入ることができる。

なお、「選手」「スタッフ(監督・コーチ)」は、『登録証』を持参してベンチ入りすること。

※選手は1～12の番号をユニフォームの定められた場所に明示する。

※参加申込みの際、同一校・同一クラブの男女チームの監督を兼ねることはできない。監督とコーチの兼任は可とする。ただし、男女それぞれのチームでJHAのチームスタッフ登録を済ませていること。

※学校部活チームの監督については教員または、部活動指導員であること。クラブチームにおいては、監督またはコーチのどちらかは指導者資格を有する者がベンチ入りすること。(JSPO:日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ3以上)

2. 「担当者」について

・原則、パンフレットに記載されている者2名まで (20歳以上であること)

・大会期間中に「担当者」を変更することを認める。(全中大会における特別ルール)

・いずれの「担当者」も『JHAチームスタッフ登録』を完了し『登録証』を持参してベンチ入りすること。

3. ベンチには、パンフレットに記載された者とTDが認めた者*が入ることを許可する。

*:「校長(学校部活動)」「チーム代表者(地域クラブ)」「メンバーに入れなかった同性の3年生(体操服などユニホーム以外のそろいのシャツを着る)」等を認める。

「校長(学校部活動)」「チーム代表者(地域クラブ)」「メンバーには入れなかった同性の3年生」とともに実行委員会が用意する『IDカード』を持参する。(IDカードを入れるホルダーは、代表者用のみ実行委員会から配布するが、その他については全て各チームで準備すること。)

なお、ベンチ入りできるTDが認めた者の確認は監督会議の場で行う。

4. ベンチは対戦表の先(左側)のチームが、ジャッジ席(テクニカルテーブル)から見て左側(赤色テープ)のベンチに入る。

◆試合開始時・終了時のセレモニー

《開始時》試合開始1分前に、「ジャッジ席前整列」～「トス」～「ジャッジあいさつ」～「コートへ散る」

《終了時》「センターであいさつ」～「わかれ」

※時間短縮のため、ジャッジテント・相手チームへのあいさつは行なわなくてもよい。

※監督は、公式記録用紙のサインを速やかに行う。⇒スムーズな競技進行協力を!

※各チームは、試合後、速やかに撤収するよう協力をお願いしたい!

◆競技中

【競技時間】

・試合時間については、本来15分の前後半(前後半の間に5分の休憩)が本来のルールであるが、昨今の猛暑による選手の安全を配慮し、今年度5月の日本中学校部会第1回常任委員会の決定を踏まえ、下記の通りルールを変更して実施する。(JHA競技運営部の承認済)

《予選リーグ・決勝トーナメント／全試合》

7分間の4クォーター制とし、第1・第3クォーターの後に1分間の休憩(コーチング可)、第2クォーターの後に5分間の休憩を設ける。(時間はテクニカルテーブルで管理)

1Q	インターバル	2Q	ハーフタイム	3Q	インターバル	4Q
7分間	1分間	7分間	5分間	7分間	1分間	7分間

原則、オンタイムで行う。(TOから休憩の残り時間を知らせる)

・全ての試合において延長戦はなし。決勝トーナメントについては、即SO戦を実施する。

【フィールドへの立ち入り】

試合中、選手にケガ等が起こった場合は、ベンチ内にいる手当てをする者の1名及び監督・コーチ*のどちらか1名が、当該審判員の許可を得てフィールド内に入り、手当てを行うことができる。

(ただし、その際にコーチングをすることは厳禁)

*: 中学生を指導している実情を考慮し、負傷時等の対応としてコーチを特例として認める。

【ルール確認／レギュレーションに記載内容】

《(1)～(11)2019～2023 年変更の再確認、(12)2024 年追加》

- (1) サークル内にある防具により、おそらく入っていた得点が防がれた場合→PS
- (2) サークル内における守備側のFHは、従来通り反則地点のサークルトップまでの地点(12m 以内の地点)に加え、サークル内のどの場所から再開することも可能となった。
- (3) サークル4m以内での攻撃側 FH の場合、FH が即座に行われない場合はサークル内であっても守備者は4m離れる。(常に4m 離れようとする指導を奨励)
- (4) PC 終了の条件から「サークル外に2回出る」の要件を削除。
- (5) PC において攻撃側のフライングは、罰則としてパッサーが16m ラインに戻される。
- (6) 守備者が PC 用の防具を取り外す適切な機会がなかった場合、センターラインより自陣エリア内にいる間、ペナルティーなしで防具を着用し続けることができる。すべてのプレイヤーは、センターラインより自陣エリアから出る前、または審判から指示されたときに、すべての保護具を外さなければならない。(11 人制と同様の方法とする。)
- (7) GK の肘用防具については、ユニフォームで覆う必要はなくなった。
- (8) ブリーによる再開方法について、6 人制についてもスティックの平らな面を軽く1 回打ち合わせる(11 人制と同様の)方法となる。
- (9) 落下地点でレシーブしようとしている選手に対し、4m より離れた地点から近づいてボールをインターセプトすることができる。(ただし、危険と判断された場合はこの限りではない。)
- (10) ペナルティーコーナー時の残りの守備側プレイヤーは、従来のセンターラインから相手側バックラインから16m以内に位置する。
- (11) SO 戦について、ゴールラインからフィールド中央の16m地点にひかれた16mスポット上から開始し、測定タイムは 6 秒とする。
- (12) PC において守備側のビハインドフリーヒット(通称)で(ゲームが一旦途切れて)再開される場合、PC 用の防具を全て取り外してからプレイしなければならない。

【ルール確認／その他6人制の配慮事項】

- 1) 6人制では基準距離が4mになります。
- 2) フリーヒット時はボールをしっかり止める。セルフで始める時はポイントの確認・ボールを止める動作を明確に行わせる。
- 3) リバースプレーについては、危険か否かによる判断でジャッジする。(安全第一)
- 4) コーナー(LC)は16m仮想ライン上から。
- 5) イエローカードによる退場は2分以上。(時間の計測はテクニカルテーブル)
- 6) グリーンカードによる退場は1分。(今年度より/時間の計測はテクニカルテーブル)

【選手交代】

* 選手の交代は、ジャッジテント前中央付近の(ラインで明記)で行うが、交代する選手がコート外に出た後に新たな選手が入ること。

控え選手にビブスを着用させて待機させ、交代の際にビブスを受け渡す方法で交代をするチームがある。この方法は、控え選手を明確にし、選手交代も正確かつ円滑に行われることから、良い方法として奨励される。

【ベンチワーク】

- * ベンチでの指導は、「監督」または「コーチ」のどちらか一人とする。

なお、今大会では、コーチングエリア(バルコニー／ローネットまでかつテントの幅)を設けるので、立ち上がったの指導は、コーチングエリアを活用すること。「担当者」はコーチングはできない。

- * アンパイヤに暴言を吐いたり、セルフ判定によりゲームを混乱させる行為などは厳しく対処する。

TOからのカードにより、ベンチから退場もあり得る。*補則

特に指導の必要な監督には、TDおよび中学校部会に対応する。

※全ての監督は「行動規範確認書」を参加受付で提出し、それに伴った行動責任を果たすこと。

*補則：競技運営規程には、「TOのカード提示によりベンチから退場」の記載は無くなったが対処は継続する。

【SO戦(予選リーグの順位決定)】

- * 大会レギュレーション_7. に定められた要領にて実施する。

- ・3名の選手と1名のGKによる。

- ・ゴールラインからフィールド中央の16m地点にひかれた16mスポット上から開始する。

- ・測定タイムは6秒とする。

- * 予選リーグの順位をSOで決めなければならない時は、最終試合が早く終わったコートにて順位決定のためのSO戦を実施する。なお、詳細については、放送等により連絡する。

- ・…SO戦時に残っていないチームは「不戦敗」となる。

◆決勝トーナメントの組合せについて

- * 決勝トーナメント1回戦は、予選リーグ1位チームと2位チームが対戦する組合せとする。

⇔ 予選リーグ後の抽選会は今年度より実施しない。(あらかじめ決勝トーナメントに勝ち上がった際の対戦相手はリーグ戦表に示しておく。)

◆観客の応援について

- * 応援について下記の範囲で観戦者のマナーに任せるが、競技役員・大会関係者の指示に従うこと。

- * 鳴り物による応援は、下記の通りとします。

- ・太鼓による応援は可とする。

※ただし、競技役員(TO、UMPなど)からの指示に従うことを条件とする。

- ・ラッパや笛などによる応援は、審判の笛との判別が分かりにくくなる可能性があることから不可とする。

◆安全対策・負傷・事故発生時の対応について

- * 負傷により手当要請をした場合、2分間以上ベンチで静養する。(GKは除く) ⇔ジャッジ席で計測

- * 顔・頭部・心臓付近の負傷については、本人の意思に関係なく、安全確認のため一旦ベンチに下げること。

- * GKが負傷した場合

- ・GKなしのゲームは認めない。

- ・控えのGKがいない場合、フィールドプレイヤーが防具を着装すること。

- * 救護所(室)

- ・救護所を設置し、看護師等が常駐する。

- ・また、重大事故発生時には、救急対応する。

- ・AEDを各会場に設置する。

- * 負傷・事故報告書(ジャッジ席に配備)

救急車で搬送された場合、熱中症等で倒れるなど医師の診断を受けるような事故が発生した場合には以下の手順により、「負傷事故報告」の提出が義務づけられている。

1. TOが監督に負傷事故報告書を渡す

2. 医師等の診断

3. 事故報告・経過報告・医師の意見を記入

4. 記入された用紙をTOに渡す。→TD

5. 試合が翌日の場合は、翌日にTOに用紙を渡し、経過説明。

6. スターティングリスト提出時に、本人の健康確認をTOまたはTDが行う。

なお、事故と同一日に次の試合がある場合、無診察(素人判断のみ)での試合出場は認められない。

⇒【別紙／『スポ少・中学生大会等 1 日に複数試合を行う場合の「負傷事故報告書」の取り扱いと負傷者の試合続行に関する留意点】に従い安全第一の対応をお願いしたい。

* 猛暑時の対応については、監督会議でTDより方向性を示す。当日の判断はTDが行う。

* 近年の急な天候変化等により、緊急の監督会議招集やTDからの通知により対応する場合がある。

その際は、ご協力をよろしくお願いします。

◆その他

* カメラマン(卒業アルバム等作成のためのチーム随行カメラマン)について

・必ず受付を通りビブス等を着用すること。

・カメラマンが随行しているチームの確認 ⇒ この場(監督会議の場)で申告をする。

・必ず、撮影可能エリア内で、大会本部の指示に従い撮影すること。

・・・ケガは撮影者の自己責任でお願いしたい。アンパイアの指示には必ず従うこと。

・試合開始のあいさつ時、ハーフタイムのみベンチ周辺での撮影も許可する。

* ベンチ内での撮影について

・ベンチに入ることが許される者が、ベンチ内(テント内)で、競技に支障を与えることなく撮影することは許可するが(カメラ・ビデオともOK)、ジャッジ席からの指示には速やかに従うこと。

当大会および競技に関して、何かございましたら、各チームの監督(顧問の先生)を通して、大会TD(馬場)までご質問ください。